

## 国際法が守られない世界

アメリカがベネズエラへの攻撃を敢行し、マドゥロ大統領夫妻を拘束した。

現地時間3日未明（日本時間同午後）米陸軍特殊部隊「デルタフォース」が軍事基地を標的に空爆を仕掛けたとみられ、複数の大型輸送ヘリコプター、CH47「チヌーク」がカラカス上空を飛行する様子を捉えたとされる動画もSNSで出回っている。

「デルタフォース」は、第1次トランプ政権下で「イスラム国」（IS）の最高指導者バグダディ容疑者を潜伏先のシリア北西部で急襲して殺害した特殊部隊だ。

日本のテレビの初期報道では、マドゥロ大統領からの解放を喜ぶベネズエラ国民の映像だけが流されているが、世界のニュースは世界各地でアメリカの国際法違反に反対するデモのニュースが流されていた。

その中にはアメリカのニューヨークでのデモの映像もある。  
どちらが正しいかではなく、双方の意見があることを伝えるのがメディアの役割であるはずだが、恐ろしく偏った報道となっていた。

ネット上のニュースでは世界各地でのデモの映像が流されている。

アメリカの攻撃、大統領夫妻拘束から数日が経過すると国際法無視のアメリカへの非難が強くなった。そのタイミングで日本のテレビも世界中でアメリカ非難の声が上がっていて、ベネズエラでもアメリカの攻撃、占領政策に反対の声が上がっているニュースを流し始めた。

**ここにテレビがオールドメディアと言われてしまう所以がある。**

ベネズエラがどんな状態であっても主権国家に対しての直接攻撃は国際法上認められていない。

トランプ大統領はマドゥロ大統領不在のベネズエラの国家運営をアメリカが行うと発言している。様々な理由をこじ付けベネズエラを攻撃したのは世界最大の埋蔵量を誇るベネズエラの油田目的なのは誰の目にも明らか。

しかし、そんな私利私欲の為の国際法無視の軍事行動を世界が批判できない状態になっていることが恐ろしいと思う。

**日本の高市首相はどうコメントしているのか。**

大切な部分なので、全文を記載します。

「ベネズエラでの事案を受け、日本政府としては、私の指示の下、邦人の安全確保を最優先としつつ、関係国と緊密に連携して対応にあたっています。

ベネズエラ情勢については、日本政府として、これまでも、一刻も早くベネズエラにおける民主主義が回復されることの重要性を訴えてきました。

我が国は、従来から、自由、民主主義、法の支配といった基本的価値や原則を尊重してきました。日本政府は、こうした一貫した我が国の立場に基づき、G7や地域諸国を含む関係国と緊密に連携しつつ、引き続き邦人保護に万全を期するとともに、ベネズエラにおける民主主義の回復及び情勢の安定化に向けた外交努力を進めてまいります」。

自由、民主主義、法の支配といった基本的価値や原則を尊重しているのなら、国際法違反の軍事行動を非難するべきだが、[\\*続きはコチラ（会員登録）から](#)